

## 小金沢山～牛奥ノ雁ヶ腹摺山

山行日：2025.9.20 会山行 4 名参加

天候：曇り後霧雨

コース：甲斐大和駅/8:10－石丸峠入口/8:55－石丸峠/10:10－天狗棚山/10:30－狼平－小金沢山/12:05/12:20－牛奥ノ雁ヶ腹摺山/12:50－すすらん昆虫館/15:00/15:15－甲斐大和駅/15:45（16:03 高尾行き乗車）

大菩薩峠方面行のバス停が駅舎の裏に新しく出来ていたことを知らず、誰も並んでいないので変だなと思いながらいたら、地域バスのドライバーから上日川峠行きのバス停は駅舎の反対側だよと言われ、慌てて移動し何とか満席状態の大型バスに乗り込むことができた。ハイカーがもっと多かったら乗れずじまいだった。



途中、中高年グループが源次郎岳登山口で下車した。バス運賃は今時、現金払いだったので注意を要する。  
石丸峠入口で我々のみ下車する。 途中林道を横断して



歩きだしは明るく曇り空だったが、稜線に近づくにつれ空が暗くなり怪しい空模様になってきた





10:10 石丸峠に出たと同時に霧雨が降ってきて慌てて雨具を着こむ。今回は当初雨模様で中止としても良かったが当日は終日曇り予報で、翌日は晴れの予報にて雨の心配は少ないと判断したのだったが？



稜線歩き開始、天狗棚山通過 10:30 笹原地帯が始まり緩やかなアップダウンを繰り返して先へ



今回のコース中のハイライトである笹原エリア「狼平」をガスの中通過 翌日のヤマレコ狼平のロケーションではこのような展望が（悔しい）  
小金沢連嶺で一番のロケーション地帯



小金沢山手前では稜線を慎重に巻いて





尾根を行くと小金沢山 2014m 大菩薩嶺より 43m 低い



霧雨が降り続けているので林の中でランチタイム



晴れていたら楽しいだろうと思いながらの笹原に行く



笹原と木立歩きを繰り返しながら、最後のピーク日本一長い山の名前、<sup>うしおくの がん が はらすりやま</sup>牛奥ノ雁ヶ腹摺山 1990m 着



ハケ岳縞枯山模様のエリアを降って行く 道標や登山道もしっかりと手入れがされて歩きやすい。





一部手入れがされていない階段路は慎重に降りる



植林したばかりの柵内が登山道となっている



1 時間ほどで林道へ降り立つ



柵から出てさらに鹿柵沿いに降ってゆく 40分程でトイレのある林道へ（昆虫館にはトイレなし）



昆虫館前登山口 15時着 15:15のガラ空きのバスに乗って甲斐大和駅 15:45 着 16:03 高尾行に乗る  
すすらん昆虫館は運営はしていないようだった。

